広報やわた

第335号
平成3年 1991年 7月

発行 八幡市役所
京都府八幡市八幡園内75
電話 (075)983-1111
編集 企画部秘書広報課

人口 7万6093人 （前月より112人増）
1991年・平成3年6月1日
男：3万7864人 女：3万8229人
世帯 2万4686世帯
動き（5月分） ・出生 73人・死亡 39人 ・転入 331人・転出 253人

休日の急な歯痛や病気

日曜や祝日等の休日に、急な歯痛や病気で困ったことはありませんか。こんなときは休日応急診療所をご利用ください。受付は休日の午前11時30分から午後5時30分まで。

園児が田植えに挑戦
泥まみれで自然を体感

八幡市議会 第2回定例会
一般会計 2575万円を補正
「平野山瓦窯跡」も発掘調査

平成3年八幡市議会第2回定例会（6月議会）は6月11日に開会、18日間の会期で行われ、大谷川公園整備事業費を含む一般会計補正予算案など3議案を可決、契約案件を継続審査とし、同月28日に閉会されました。

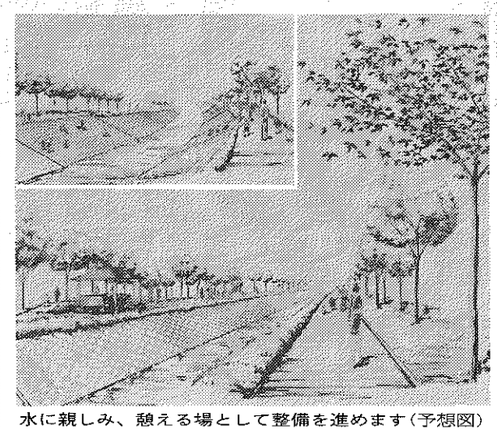
6月議会に提案したのは、補正予算案、工事の請負契約締結など3議案と2年度繰越予算の報告3件です。また、最終日に追加議案として人事案件1件を提案しました。

審議の結果、一般会計と特別会計の補正予算案2件と人事案件1件が可決され、契約案件は閉会中に関係常任委員会に付託され、審査されることになりました。

一般会計補正予算額は2575万円で、これにより総額は、194億3930万円となりました。補正の主な内容は、大谷川公園整備費の1200万円、「平野山瓦窯跡」発掘調査費の260万円、火災による災害援護資金貸付金の410万円などです。

また、人権擁護委員の任期満了（6月14日）に伴い、山本敏子さんを引き続いて法務大臣に推薦することについて、市議会の同意を得ました。

―水辺空間の活用をはかり―
あけぼの橋～五月橋 大谷川を親水公園に



水に親しみ、憩える場として整備を進めます（予想図）

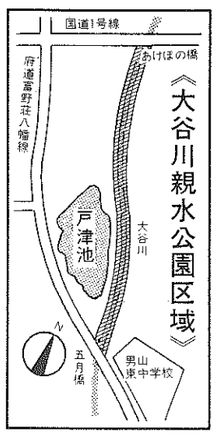
放生川に続く 親水公園を整備

うるおいのある水辺空間づくりを目指し、放生川一帯に続いて市内第2の親水公園として整備を進めるのは、八幡一ノ坪のあけぼの橋から内里柿谷の五月橋までの大谷川沿い延長800㍍の区間です。

整備面積は3・2㌶で、今年度は、実施設計の委託と右岸1600平方㍍の整地に着手します。

全体計画では、公園内に、ゲートボールなどができる自由広場や自由に憩えるピクニック園地、芝生広場、階段式の親水護岸などを設けるほか、家族でアスレチックが楽しめるトリムコーナーを6カ所に備える予定です。また、河川敷には、桜など、周りの景観にあった樹木を植栽します。

総事業費は3億円で、全工事完成は平成8年3月末の予定です。

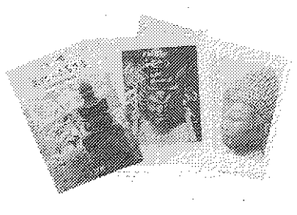


平野山の瓦窯跡を発掘調査

今回、市教育委員会で発掘調査を行うのは、「平野山瓦窯跡」のうちの39平方㍍。同窯跡は、男山丘陵の西側にあり、昭和54年に枚方市側の調査で窯のたき口部分が発掘され、その存在が確認されました。昭和60年に八幡市側の調査を行った結果、瓦や須恵器を焼いた7基の窯跡を発掘。この窯跡から、大阪・四天王寺創建時（6世紀末）の瓦と同じものが出土。このため、同窯跡は四天王寺を創建するために作られた窯で、わが国最古級の様式を伝える貴重なものであることがわかりました。

調査は、同窯跡隣接地の住宅建設に伴って、同地で窯の広がりを確認するために行われるものです。

八幡市教育委員会では、市内の社寺や文化財をわかりやすく紹介しようと、このガイドブックの制作を計画。1年がかりで調査し、編集したものです。
「八幡文化のふるさと」を刊行



八幡市教育委員会では、市内の社寺や文化財をわかりやすく紹介した「八幡文化のふるさと―文化財の数々をみる―」を発行しました。

市内には、仏像や絵画など、国の指定を受けた重要文化財をはじめとして、多くの文化財があります。しかし、ほとんどが一般に公開されていないため、市民のみなさんが貴重な文化財を目にする機会はあまりありません。そこで、市教委が市内の文化財をわかりやすく紹介しようと、このガイドブックの制作を計画。1年がかりで調査し、編集したものです。

同冊子はA5判、76ページ。25カ所の社寺と仏像、絵画などを カラーとモノクロ写真86点で紹介。また、仏像等の伝説や逸話、図解入りの用語解説も盛り込まれています。

市内の文化財を写真で紹介

掲載されている文化財は、国や府で指定されているもののほか、江戸時代の「竹内伊豫守経孝肖像（本妙寺）」など、地域的文化価値の高いものも多く紹介されています。

《有料で販売》
「八幡文化のふるさと」は、市役所市教委社会教育課、史跡松花堂売店で、1部700円で販売しています。郵送で希望される方は、現金書留で冊子代金のほか210円切手（1冊）を同封のうえ、市教委社会教育課（八幡園内75）へお送りください。

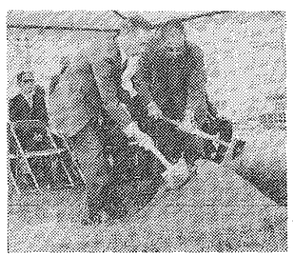
工業団地づくりが本格スタート
上津屋土地区画整理事業が起工

優良企業を誘致し、工業の整備を進めるため、市東部の工業専用地域24㌶で進める上津屋土地区画整理事業の起工式が6月24日、上津屋石ノ塔で行われました。

式には関係者や来賓など約30人が出席。西村市長から「この事業が地域の活性化を促し、市の産業の振興に大きく寄与することを期待しています」と、門出を祝うあいさつがあり、工事の無事を願ったクワ入れなどが行われました＝写真。

この事業は、今年3月、府の都市計画事業として認可されたことに伴って設立された上津屋土地区画整理組合が進めているもので、市では「基本構想」に基づき、雇用と収益の両面について効率性の高い企業を誘致し、健全なまちづくりと理想的な企業団地を形成していくため、昨年4月、区画整理課を新設。同組合と共にこの事業の推進をはかっています。

今年度は、計画道路の測量、実施計画書の作成、一部道路の築造などが行われます。総事業費は24億4200万円、うち国・府補助金が6億7420万円、市では2億3355万円を負担、完成は平成10年春の予定です。



第2期ほ場整備に向けて
調査委員会が発足

未整備地域である国道1号までの防賀川以北67㌶の整備の有効性を調査、検討するために発足されたものです。

狭く、さまざまな形で点在している農地や用排水路、農道では効率が悪く、水利の点でも不経済です。また、近代的な機械も十分に活用することができません。このような農地を整備するのが、ほ場整備事業です。整備された農地では、機械や収穫物の搬出入が容易になり、作業の効率化がはかれ、湿田が乾田化されるため畑地としての利用も可能となります。

同委員会は、農業団体や各地域の代表者らで構成され、当日の委員会では、橋本金造農業委員会会長が委員長に選任されたほか、7月から各地域で、積極的に説明会を開いていくことなどが話し合われました。

竹の平和募金
世界の子供たちに平和を

みやこ保育園の4・5歳児24人が6月11日、同園前の休耕田で田植えに挑戦しました。これは、米づくりを通して自然のすばらしさ、収穫の喜びを園児らに伝えようと、9年前から行われている恒例行事です。

午前10時、園児たちは、保母から苗植えの仕方の説明を受けたあと、3歳以下の園児たちが見守る中、パンツとシャツ姿で水田に入り、張られた縄の位置を目印に、15㌢ほどに育った苗を慣れない手つきで植え付けていきました。園児たちは、「たんぼの中は、ぐにょぐにょしていて気持ちがいい」と、大はしゃぎ。時には、飛び交うカエルと遊び、泥まみれになりながら、取り組むこと約1時間。1㌃の水田に、きれいな苗並が出来上がりました。

今後、夏には草刈りが、10月には稲刈りが行われ、収穫したお米はおにぎりにして全園児で試食する予定。堀江園長は、「古い農器具なども園児たちに紹介し、農業に従事している地域のおじいさんたちの話も聞かせていきたい」と話していました。

Zoom in

世界には、約1億5千万人の5歳未満児が絶対的な貧困のもとで暮らし、年間約1400万人の子供が栄養不良と病気で死亡しているといわれています。その中には、戦争など、平和が犯されたための犠牲となって、苦しんでいる子供たちも少なくありません。

これらの子供たちに少しでも役立てばと、非核平和都市推進協議会（会長・西村正男市長）では、〝竹の平和募金〟活動を実施することにしました。

竹で作った募金箱を7月中旬から市内の公共施設などに設置します。みなさんのご協力をお願いします。

集まったお金は、国連の児童援助機関であるユニセフを通じて、世界の子供たちに送り届けます。

教育委員会が市役所4階へ

庁内の配置替えで、教育委員会（教育総務課、学校教育課、社会教育課、教育指導室）を、2階から4階に移設しました。ご用のときは、1階エレベーターのご利用が便利です。

市長の手帳から

田植機の軽やかな爆音を伴奏にしながら、水いためんの田の面にみるみる若苗の整列が進んでゆく。まだまだ細くて背丈も低いが、ひと株ひと株がまっすぐに天を差して、まこと、りりしいというほかはない、かれんな雄姿の整列である。

飢えるアフリカの人々に援助米を送ろうと、農業青年のみなさんが汗を流したさみだれの一日、私もまた仲間に加えていただいて、生まれて始めて田植機のハンドルを握るという貴重な体験に勇躍することができたのだった。

飢えたるは二千万人というアフリカへゆく米育てと苗を差す朝

田植機は確かなりけり苗五つ五つ五つをつぎつぎつぎと

杭二本打ち終えし自信に胸張りて若者たちに水防を説く

青春の叫ぶがごとしファンファーレ高らかに中高音楽のつどい

演ずるは〝国宝千五郎〟演目は〝八幡ノ前〟なり八幡のホール

長かりしかな〝千五百〟日本一に若いどみたる十五分のとき

われなればいかになさむと息つめて見つめる雲仙大火砕流

地の底から熱き岩わきぬせり出しぬ傾きぬなだれぬ人里の上

地獄とはかくのごときか熱き岩そそりて崩落を待つほかはなし

今年の六月は、恒例の水防訓練や市内の中学高校合同の音楽のつどいに加えて、文化センターの大ホールで、茂山千五郎と千之丞の両氏を迎えた狂言の初公演があり、放生川を舞台にした〝八幡ノ前〟のおかしさに、歴史に磨きぬかれた伝統文芸の粋をたんのうすることができたし、またスポーツの面では、高三の少年藤本雅之君が、昨年九月の北京アジア大会にひき続いて神戸で開かれた水泳日本選手権の自由形で健闘、千五百㍍では三位に甘んじたものの、四百㍍でみごとに優勝、おりから開催した市民総合体育大会の開会式に、何よりの花を飾ってくれたのだった。

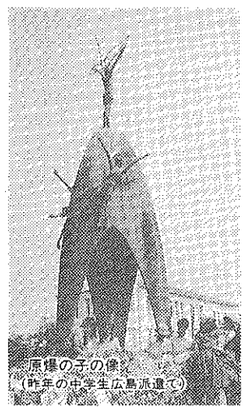
それにしても、五月は信楽の電車事故、そして六月は雲仙の火山災害と、このところ自治体の受難が続いている。

島原の大変は下旬に入った今も、ますます深まっていくばかりで、全く鬼気迫る感じとなった鐘ケ江市長の相貌をテレビでみるたびに、〝静まれ雲仙！〟と、ただひたすらに祈るのである。

八幡市長　西村正男

平和を願って〝一言〟あなたも

平和メッセージを募集

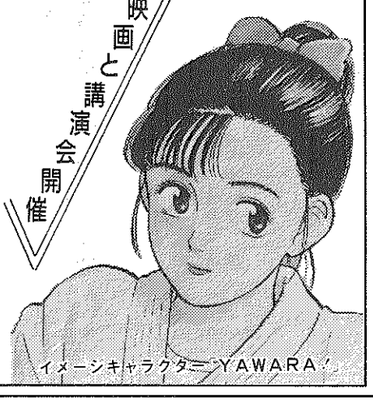


市では、「戦争の悲惨さ」、「平和の尊さ」の認識をさらに深めるため、市民のみなさんから平和についての〝一言〟を募集します。

応募された〝一言〟は、広報紙で紹介します。

■募集期間　7月31日（水）まで
■募集規格　平和を願った内容で、原則として200字以内　■応募方法　はがきまたは封書にメッセージと、住所、氏名（匿名の場合はその旨を記入）、年齢、職業を記入のうえ、市役所企画部秘書広報課（八幡園内75）へ送付してください。
問い合わせ　企画部秘書広報課（☎市役所内線310）

7月は「社会を明るくする運動」月間です



≪映画≫
「甘ったれるな
〝女子高校生その愛と憎しみ〟」
≪講演≫
「青少年の育成と非行等の問題について」
●講師　佐々満郎（八幡市教委教育長）
▶とき　7月20日(土)午後1時30分
▶ところ　男山公民館2階大会議室

ふれあいと対話が築く 明るい社会

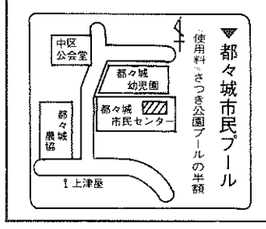
「社会を明るくする運動」は、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築いていこうとする全国的な運動です。八幡市社会を明るくする運動実施委員会では、この運動を推進するため、期間中、「映画と講演会」を開催します。ご家族でご参加ください。

身近な避暑地、市民プール。
7/6(土) PM1:00 オープン

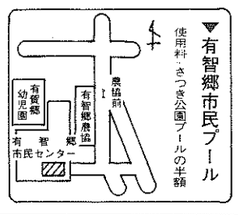
7月6日（土）、午後1時から市内3カ所の市民プールがオープンします。

■開設期間　8月31日の正午まで　■開設時間　午前9時から午後5時まで　■入場料　下の位置図を参照。オープン当日は無料。また、身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの人は、本人と介護者1人が無料。　■その他　さつきプールの50㍍プールは、中学校の水泳学習のため、7月11日、12日、13日、15日、16日、17日の午前中は一般使用ができません。　◆問い合わせ　市公園施設事業団（☎981・6111）

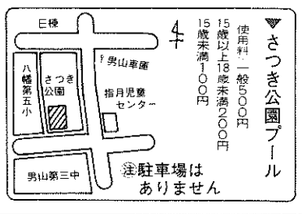
▼都々城市民プール
使用料・さつき公園プールの半額



▼有智郷市民プール
使用料・さつき公園プールの半額



▼さつき公園プール
使用料　一般500円
15歳以上18歳未満200円
15歳未満100円



注駐車場はありません

オープンまで いよいよ5ケ月

（仮称）男山市民センター

文化センターと図書館、それにコミュニティセンターの機能を備えた複合施設として、昨年11月から男山竹園に建設を進めている（仮称）男山市民センターは、工事も順調に進み、市民のみなさんが教育、文化、ふれあいの活動の場として利用していただける12月のオープンまで、いよいよあと5カ月となりました。

男山南センターの一角に建設を進めている（仮称）男山市民センターは、図書館とコミュニティフロア、多目的ホールを備えた施設です。図書館での学習をはじめ、文化・芸術、コミュニティやサークル活動など、幅広い範囲の活動の拠点として、その役割を担っていきます。

施設は、地上3階（一部4階）、地下一階の鉄筋コンクリート造りで、敷地面積は2200平方㍍、延床面積は3261平方㍍。1階と2階の東側全面は、自然光を取り入れて館内を明るくするためにガラス壁とし、利用、活用状況が外からも見える開放的な設計となっています。また、施設周辺には季節によって色彩をかえる樹木を植栽し、新緑から紅葉までの季節の変化が楽しむこともできます。

現在の進ちょく率は、約65パーセント。建物本体はほぼ完成し、9月末の完成を目指して今後、内部の設備と内装、外構工事が行われます。

オープンは12月1日の予定で、同センターで多彩な活動や催しが繰り広げられる日まであと5カ月となりました。

文化と教育を育てるふれあい広場

完成間近なセンターの中身を紹介します。

1階

1階は、図書館フロアです。床面積は984平方㍍。児童図書、成人図書、参考図書、視聴覚、新聞・雑誌の各コーナーのほか、視覚障害者のための対面朗読室や子供たちへのお話し室が設けられています。蔵書冊数は、児童図書が1万6000冊、成人図書が2万4000冊の計4万冊を予定しています。

2階

2階はコミュニティフロアで、床面積は1階と同じく984平方㍍。

このフロアのメインは、広さ283平方㍍の「ふれあいロビー」。会館時間中であれば、申し込み無しで自由に使うことができます。また、このロビーは、絵画展や書道展などの展示会場としても利用することができます。

日当たりのよい東側には、幼児室、調理室、陶芸や美術の創作室を設けるほか、防音設備のある音楽室、和室や会議室などを設けます。

また、利用しやすいように、直接2階からも出入りができる玄関を設けることにしました。

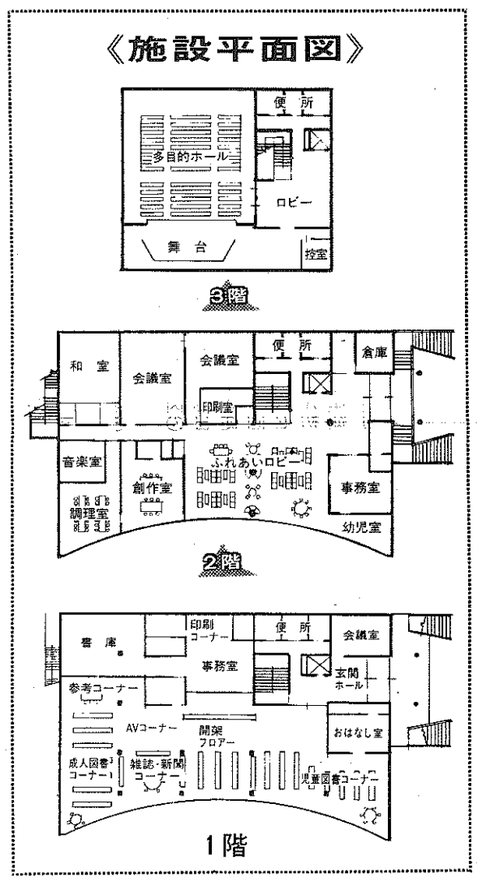
3階

3階は多目的ホールです。床面積は564平方㍍。音楽や劇、舞踊、映画などに活用できる舞台は76平方㍍で、最大客席は300席。ひな段式の座席は、電動で後部倉庫に納めることができ、席を除去後の283平方㍍の平らなフロアでは、ダンスや体操などに利用することができます。

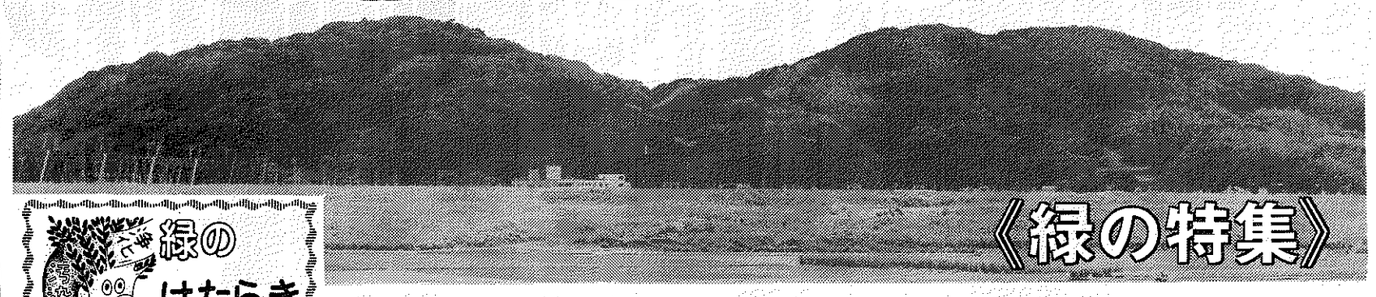
地階

地階は、25台の車を収容することができる駐車場で、地上部分の駐車場と合わせて33台が駐車することができます。南側が市道と同じ高さになっているため、車の出入りが容易にできるようになっています。

《施設平面図》



"みどり"あふれるまちづくりへ



《緑の特集》

"みどりの約束"でふるさとの森とふるさとの木

風にそよぐ木立ちのざわめきと小鳥たちのさえずり、目にまぶしくにおい輝く新緑、夏の直射日光をさえぎる木陰、色鮮やかな花を咲かせる草や木、季節の香りと実りをもたらす果実……緑は、四季折々に、私たちをはぐくんでくれます。市では、この大切な緑を市民ぐるみで守り、育てるため今年4月、「みどりの条例」を制定。良好な自然状態が保持されている緑地地域を"ふるさとの森"として、また、樹勢や景観にすぐれた大樹を"ふるさとの木"として指定し、これらの所有者と「みどりの約束」を結ぶ――緑の保全制度を新しくスタートさせました。

みどりの条例

私たちの祖先は、樹木を建設材料に、落ち葉を肥料に、山菜、木の実を食糧にするなど、緑と上手につきあい、共存してきました。

市では、私たちの生活に欠くことのできないこの大切な緑を守り、育て、それを次代に引き継いでいくことが現在の私たちの役割であると考え、市と市民が一緒になって緑を保全、保護していくための指針として「みどりの条例」を制定しました。

八幡市は、昭和30年代の中ごろから、京都、大阪の2大都市の住宅適地として都市化の傾向が顕著となり、昭和44年から始まった男山団地の造成を機に、大規模な都市開発が進められてきました。深い森林にいだかれた男山丘陵は、住宅地として生まれ変わり、そこに新しい文化が生まれ、そして、まちも「町」から「市」へと成長してきました。

開発によって失われた緑は、街路樹や緑地公園として生まれ変わりましたが、緑のもつ多くの機能を考えるとき、改めて、都市と緑のあるべき姿を考えてみる必要が出てきました。

そこで、市では昭和33年、"緑ゆたかな文化の都市"を市政の基本理念の一つとした「八幡市基本構想」を制定。市の将来像の指針となるこの基本構想に基づいて、都市化の進行による自然破壊や生活環境の悪化を極力防止し、また、宅地化によって失われた緑の回復に努め、「自然と人間が共存できるまちづくり」を目指してきました。

市内には現在でも、府の歴史的自然環境保全地域に指定されている男山や美濃山の丘陵、木津川や淀川の河川、東部の田園地帯など、まだまだ多くの自然と緑が残されています。これらの保全保護をより一層効果的なものとするために、今回、みどりの条例を制定したものです。

みどりの約束

みどりの条例では、市が"みどり"の保護と育成をあらゆる施策を通じて進めていくとしたほか、「ふるさとの森」と「ふるさとの木」を指定し、これらの所有者と"みどりの約束"を結び、緑地と樹木の保存を市民ぐるみで取り組んでいくことを定めています。

「ふるさとの森」とは、▽樹木、樹林が良好な自然状態で保持されている区域　▽動植物の生息区域　▽市民の生活環境に寄与している樹林区域などで、その指定は、これらを推進するために、7月初めに発足される「みどりの審議会」で協議され、出された答申をもって決定します。

「ふるさとの木」は市内全域を対象とし、▽高さ15㍍以上のもの　▽幹周りが1・5㍍以上のもの　▽株立ちした樹木の高さが3㍍以上のもの　▽枝葉の面積が30平方㍍以上のものなどで、樹勢や景観の優れたものを指定します。

「ふるさとの森」と「ふるさとの木」として指定した地域または樹木の所有者とは、良好な環境状態を保持、管理してもらうことを内容とする"みどりの約束"を結び、市はその代償として、1平方㍍当たり年額10円、樹木1本当たり年額5千円を保全奨励金として交付することにします。（ただし、固定資産税が非課税の土地、またはその区域内にある樹木には交付されません）

この奨励金は、地域づくり推進のために国から交付される地方交付税を財源に、新しく設置した「みどりの基金」から生まれる利子を当てることにしています。

まち全体を緑や花でいっぱいにするには、市が行う道路、公園緑化はもとより、市民のみなさん一人ひとりの身近な働きかけが必要です。みなさんも緑あふれるまちづくりにご協力ください。

市木「くすのき」

緑のはたらき

《空気を浄化》　緑（葉）は空気中の二酸化炭素を吸収し、私たちに必要な酸素を生み出します。また、亜流酸ガスやほこりなど、大気を汚す物質も吸収してくれます。

《気温を調節》　葉は日差しをさえぎるだけでなく、水分を蒸発させるときに周りの気温を下げ、夏の暑さを和らげてくれます。

《災害を防ぐ》　樹木は雨水を受け止め、土砂くずれや堤防の決壊を防いでくれます。

《騒音を吸収》　樹木には音を吸収する働きと、音が小さくなったように感じさせる心理的効果があります。

森林浴　緑のシャワーで気分をリフレッシュ

新鮮な空気を胸いっぱい吸って、静かな森の空間を散策する――森林浴は、私たちの疲れた体をいやし、活力を与えてくれます。

これから夏に向けて、最も美しい緑のシーズンが始まります。家族や友達と一緒に森林へ出かけ"緑のシャワー"を体いっぱい浴びてみませんか。

森林浴はどうしていいの？

森には、一種独特の香りがあります。この香りは樹木や草、花、腐葉土などの香りが混じり合ったものですが、中でも私たちの気分をすがすがしくさせ、人体によい影響を与えるといわれているのが、「テルペン」と呼ばれる揮発性の物質です。どんなにおいかというと、葉をちぎったり、木の枝を切ったときのにおいがそれです。

テルペンの香りの中には、他の生物に影響を与える「フィトンチッド」という物質が含まれています。このフィトンチッドは、植物が病菌や害虫から身を守るために、葉や根、幹から放出するものですが、これが人間の体によい影響をもたらすことが、最近の研究でわかってきました。

この効果を身近な活用例であげると、サクラもちやカシワもちをサクラやカシワの葉で包むのは、フィトンチッドのカビをつけにくくしたり、腐りにくくしたりする殺菌効果を生かした先人の知恵だといわれています。

初夏から夏にかけてが、このフィトンチッドが最も多く放出される季節です。健康の増進、ストレスの解消に、みなさんも森林へ出かけてみませんか。

同和問題市民講座 ◆52◆

「障害児」とともに生きる――⑧

止揚学園園長　福井達雨氏

私の母親は、三十八歳で子宮ガンでなくなる少し前に四人の子供を呼んで「見える物より見えない物を大切にしなさいね。偉い人よりも立派な人になりなさいね」と言いました。高校二年生の私はその時分まだ母親が好きでなくて、真剣に聞いていませんから意味もわかりませんでした。この意味が少しずつわかったのは少数側に立つ、この障害を持った人たちとともに生き初めてからなんです。母親は子供に言いたかったことは、「目に見える物を一杯持った偉い人になるよりも、目に見えない物を豊かに持った立派な人間になることの方が人間としてすぐれた生き方だよ」ということを子供に植えつけておきたかったんじゃないかって気がするんです。

私も母親と一つだけ似てると言われるのは、本質的にねあかなんです。「福井さんは何でこんな苦しいときに楽しい話ばっかりすんねや」とよく保母さんにいわれますけど、なぜ母親はあれほど孤独で、なぜあれほど頑固やったのに、あんなに明るかったかなってこのごろふと考えるんです。自分がつくる孤独は自分をだめにしたり、周囲を暗くしたり、自分を死まで追いやったり、悲劇を起こしたりします。自分の幸福を守る頑固さは非常に醜いと思います。でも他者から与えられた頑固さや孤独は、他者の命が侵されたとき、一人になっても闘っていく孤独というものは、生き生きと生きるエネルギーに変わってるんやないかなって気がするんです。

一途に長い間、差別と闘ってきた人と お会いすると何か生き生きして楽しいものを与えてくださいます。たとえば部落差別と三十年も四十年も五十年も六十年も闘ってきた方とお会いすると、本当に優雅です。そこにはギスギスしたものがない。その人たちに出会うとほっとして温もりを感じますね。私は差別と闘っていくというのはそういう姿勢ではないかなと思うんです。命の取り組みをするわけですから、命というのは一種の温かいもんです。それと取り組む人間は、必然的に温かくさせられていくんです。差別と長い間、闘ってきた人の多くはあまり難しいことをおっしゃいません。観念的な難しい話の中で頭が痛くなって、しんどくなってきてたまらない思いにかられるよりも、反対に何かほのぼのしてきてやっぱり闘わんといかんなあという気持ちにさせてくださる人が多いですね。真の孤独や頑固というのは、差別と闘うというのは、そういう孤独さとか、頑固さがやっぱり必要なんでしょうね。それは後ろに非常に暖かいものがやはりあるんでしょうね。

人間は生きざまを人にぶつけることも大切やけども、死にざまを人にぶつけることも大切やと思うときもあります。母親が死ぬときに与えてくれた「見える物より見えない物」を「偉い人より立派な人に」という言葉は、私たち四人の子供の心中に厳しくやっぱり生きづいています。それは母親が闘い続けた人間やったからだと思います。（つづく）

老人・福祉医療費受給者証を交付

市では、お年寄りや心身障害者、母子、父子家庭のみなさんが健康な毎日を過ごしていただくことを願い、医療費の無料化を実施しています。

次に該当される人は必ず手続きし、表1の日に新しい受給者証の交付を受けてください。この受給証がないと、8月1日以降の医療費は無料（一部負担金及び保険適用外を除く）になりません。

老人医療制度

65歳から69歳までの人で、次に該当する人です。①本人、配偶者及び本人の扶養義務者の平成2年分所得税がそれぞれ非課税の人②単身の人③老人世帯に属する人④寝たきりの人（長期に療養されている人）⑤同和地区の人。なお、前掲に該当する人で、表2の所得制限を超える人及び医療保険に加入していない人は適用されません。

■手続きに必要なもの　印かん、健康保険証、旧受給者証（前年の受給者に限る）。

平成3年1月1日以降の転入者は、本人、配偶者及び扶養義務者の平成2年分の所得証明書を前住所地で受け、持参してください。

福祉医療制度

該当者は次のとおりです。

①身体障害者手帳の1級から3級に該当する人②療育手帳のA・Bに該当する人（IQ75以下）③高等学校卒業までの母子（父子）家庭の子供及び母親（父親）。なお、前掲に該当する人で、表2の所得制限を超える人及び医療保険に加入していない人は適用されません。

■手続きに必要なもの　印かん、健康保険証、旧受給者証及び身体障害者手帳、療育手帳、母子、父子家庭であることを証明する証書。

表1.老人・福祉医療受給者証交付日程表

月日	場所	時間
7月29日（月）	男山公民館	9：30～11：30
	都隣保館	9：30～10：30
	男山南センター集会所	13：30～15：30
	中区公会堂	13：30～14：30
	上区公会堂	15：00～16：00
30日（火）	市役所生活課	9：30～11：30
	戸津中央会議所	9：30～10：30
	一区公会堂	13：30～15：30
	美濃山公会堂	13：30～14：30
	内里公会堂	15：00～16：00
31日（水）	山柴公民館	9：30～11：30
	南ヶ丘老人の家	9：30～11：30
	橋本公民館	13：30～15：30
	川口コミュニティセンター	13：30～14：30
	西山集会所	15：00～16：00

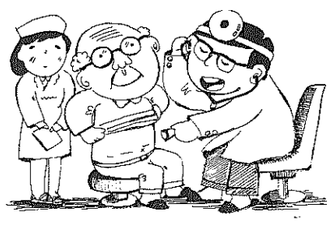
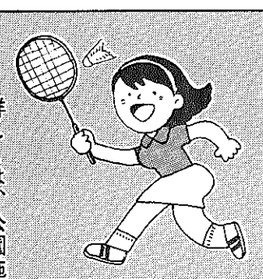


表2.市医療費支給条例による所得制限基準額

扶養親族等の数	本人所得基準額	配偶者等所得基準額
0人	1,517千円以下	5,768千円以下
1人	1,867千円以下	6,017千円以下
以下1人増えるごとに	35万円を加算	21万3千円を加算

※本人及び配偶者等に次の各種控除のある人は、所得からその金額を控除することができます。
▶老人扶養控除　6万円　▶社会保険料控除　本人のみ全額　▶障害者、寡婦、勤労学生控除　27万円　▶特別障害者控除　35万円　▶医療費控除　全額

スポーツを楽しむ日



▼日時　7月21日（日）午前10時から午後5時　▼場所　市民体育館（野尻正畑12）　▼参加費　1人300円　▼申込み　直接会場へ　▼種目　バドミントン、卓球、ソフトバレー、トランポリン、オートテニスなど　▼その他　市内無料巡回バス運行

詳しくは、公園施設事業団（☎981・6111）へ

松花堂　8月1日より資料館を休館

松花堂資料館は8月1日から翌年1月末まで、改修工事のため、入館できません。なお、庭園は従来どおり入園することができます。

問い合わせ　史跡松花堂　☎981-0010

収益で福祉施設へ慰問

元気にハッスル
乳母車を使って廃品回収

古紙を山積みした乳母車を押すハッスル会のお年寄りら

街角を3台の乳母車を使って、古新聞や雑誌、アルミ缶など廃品回収を行っている、元気なお年寄りらがいます。使っている乳母車は、大型ゴミとして捨てられていたもの。このお年寄りらは、南ヶ丘老人の家の「ハッスル会」（橋本ミサ会長）の人たちで、回収された廃品は業者に売り渡します。お金がたまると老人福祉施設や障害者施設などの慰問やボランティア活動に使います。

同会は11年前、仲の良いお年寄りらで結成され、現在は60歳から80歳までの女性14人で構成されています。慰問先では、歌や踊りを披露するなど、なかなかの芸達者ぞろい。行く先々で大歓迎を受けています。

今、世間を騒がすゴミ問題に資源のリサイクル、老人福祉など「ハッスル会」のお年寄りには、まるで無関係。

「施設の人たちの喜ぶ顔が楽しみで」と話すお年寄りらは、廃品を山積みにした乳母車を元気に押し続けています。見習いたいものですね。

長崎・雲仙被災者へ義援金

長崎県・雲仙岳の火砕流で被害にあった人たちに役立てようと6月10日、ハッスル会は廃品回収でためたお金20万円と橋本会長が10万円、市へ寄託しました。また、6月25日には匿名で50万円、6月26日にはレンガ通り商店会（19店舗）が30万円、被災者への義援金を市に寄託しました。

堤防を補強する「杭打積土俵工法」で杭を打つける参加者ら（木津川左岸で）

八幡市民体育館で開催

市民総体の総合開会式

第7回市民総合体育大会の総合開会式が6月9日、八幡市民体育館で行われました。

開会式には、スポーツ少年団や社会人団体など45団体の代表700人の選手が参加しました。午前9時30分、バトン・トワラーを先頭に選手らが会場に入場行進。岩成功実行委員長の開会宣言によりはじめられた式典には、八幡市少年少女合唱団も彩りをそえました。最後に選手団を代表してソフトボール協会の堀越得雄さん、近藤チカ子さんが各団体旗に囲まれ力強く宣誓＝写真。今年度行われる各競技での健闘を誓いました。

水害からまちを守る
市・消防団・消防本部の水防訓練

市役所職員、消防本部、消防団員が合同で6月15日、木津川左岸で水防訓練を行いました。

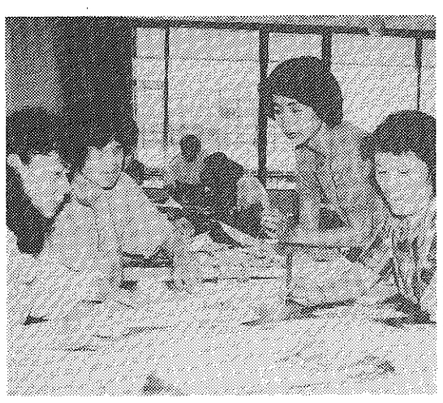
この水防訓練は、住民の生命や財産を守るため、職員や隊員の水防技術の向上をはかることを目的に、雨期を目前にしたこの時期、毎年行っています。訓練には、本部長の西村市長ら130人が参加しました。

「大雨洪水警報が発令。木津川増水のため堤防決壊の恐れあり」――との想定で、訓練は午前9時、合図のサイレンとともに開始。参加者らは、3小隊6分隊に別れ、本番さながらの緊張した表情で訓練に取り組んでいました。

訓練では、クイ、土のう袋などの水防資材やスコップ、掛矢（木ヅチ）などの器具を使い、堤防から水があふれるのを防ぐ「積土俵工法」「土留鋼板工法」、水漏れの拡大を防ぐ「月の輪工法」「堤防を補強する杭打積土俵工法」を行いました。

最後に本部長の西村市長が「今日の訓練を十分生かし、市民の財産を守ってください」と訓示。参加者は、水害からまちを守る決意を新たにしていました。

機関紙づくり講習会
育友会など15団体が参加


グループごとに紙面作りに取り組む参加者

機関紙の作り方を学ぶ「機関紙づくり講習会」を6月5日、文化センター第3会議室で開催しました。

講習会には、市内の育友会などの市民グループ15団体43人が参加。いずれも各団体の広報担当者で、日ごろから機関紙の紙面作りにはたいへん苦心されています。

市広報課では、そのような機関紙を発行するみなさんの、少しでもお役に立ちたいと講習会を開催しました。

午前中は、テキストをもとに機関紙の任務と役割、企画立案、取材、原稿づくりから紙面のレイアウトまで、機関紙作りの基本を勉強しました。午後から、参加者は6つのグループに分かれて、B4サイズの紙面づくりに挑戦。初めて見るレイアウト用紙にとまどいながら、悪戦苦闘の末、できあがった紙面を見て思わず（にっこり）。

講習を終えた参加者のみなさんは、「新聞づくりの難しさと楽しさがわかりました」と感想を話し、機関紙作りに自信を深めていました。

合同学習会を開催
障教研

市障害児教育研究会（石川裕弘会長＝八幡東小学校長）が6月5日「なかよし合同学習会」を男山レクリエーションセンターで開催しました。

児童・生徒らは、男山の自然の中でアスレチック遊びやゲームで汗を流し、みんなでホットドックを作って食べるなど＝写真、楽しい日を過ごしました。

この合同学習会は、市内の小・中学校障害児学級、向日丘養護学校に通う児童・生徒の交流を深めるため毎年一回行われています。男山レクセンで開催されるのは今回が初めてで、この日、児童・生徒らとその家族、先生など一一0人が参加しました。

回収された牛乳パック1.8㌧
リサイクル運動の定着に期待

パックの運び出しに市長も飛入り参加

森林資源の保護とごみの減量を積極的に進めようと、「水と緑を守る市民の会」と市が中心となって回収された牛乳パック約1・8㌧が6月18日、市役所倉庫から運び出され、業者に引き渡されました。

この牛乳パックは、4月から市内の小学校を拠点に回収され、集められたものです。予想を上回る多くのパックが回収され、このリサイクル運動への市民の関心の高さがうかがえます。

引き渡されたパックは、トイレットペーパーなどに再生され、得た収益は図書券にして各小学校に配ります。

パックの回収は、これからも継続して行いますので、ぜひご協力ください。

夢はバルセロナ
藤本君、水泳選手権で優勝

神戸市で開催された第67回日本水泳選手権で6月8日、男山美桜の藤本雅之君（18歳）が＝写真、400㍍自由形（長水路）で3分58秒46の高校新記録で優勝しました。

藤本君は、短水路において自由形400㍍、1500㍍の日本記録保持者でもあり、夢はやはりバルセロナ。これからの活躍が期待されます。

火災・救急統計

	3年1月～5月累計（5月のみ）		2年1月～5月累計
救急件数	591件	（134件）	591件
搬送人員	621件	（137人）	611人
火災件数	7件	（1件）	7件

加藤定之助氏が新理事長に

6月1日付でシルバー人材センターの中川津理事長が退任されました。これにともない、同日付で加藤定之助さん（71歳）が新理事長として選任されました。

市長の一日お父さん
母子家庭の子ら招く

市内の母子家庭の子供たちが6月15日、お母さんと一緒に市役所を訪れ、「お父さん」役の西村市長と楽しいひとときを過ごしました。

この「市長の一日お父さん」は、母子家庭の母らがつくる八幡市一路会（南川美代子会長）が、西村市長に子供たちの父親代わりになってもらおうと毎年行っています。今年は、父の日を目の前にしたこの日、来春小学校入学予定の子供ら3人と、その兄弟、母親、一路会役員など12人が訪れました。

子供たちから花束をプレゼントされた西村市長は＝写真、子供たち一人ひとりに話しかけ、お返しに文具セットをプレゼント。お母さんたちが見守る中、子供らもすっかり打ち解け、西村お父さんと楽しげに話していました。

表彰

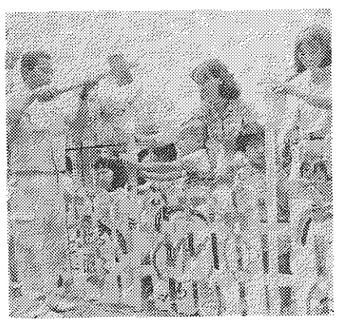
◇6月19日に府立府民ホールで開かれた京都府開庁記念式典で、前川永一氏（63歳）が平成3年度市町村自治功労者として表彰を受けられました。

前川氏は昭和50年4月、八幡町議会議員に初当選以来、町議会議員、市議会議員として4期16年間にわたり、美しい住環境づくりの推進と住民福祉の向上に努めてこられました。

寄付

◇国際ソロプチミスト八幡（田中明子会長、22人）から6月12日、「花と緑のチャリティバザー」の収益金の一部20万円を市へ寄付していただきました。市では、この寄付金で12月にオープンする男山市民センター（仮称）に桜の木を植樹します。ありがとうございました。

園児もお手伝い
飼育広場が完成



◇6月15日、都々城幼稚園・保育園に、園児と父母が一緒になって作った小動物の飼育広場が完成しました。

園児が板にペンキで虻やこいのぼりの絵を描き、この板を父母が釘打ちをしてサクを組み立て、園庭に広い垣根の囲いができあがりました。これで広々とした場所で、ウサギやチャボと自由に遊べると園児たちの喜びの声が聞かれました。

伝統芸能の狂言
満席の盛況ぶり

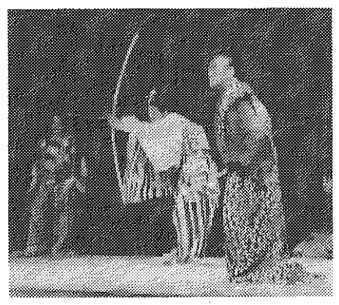
◇日本の古典芸能「狂言」が6月15日に、文化センターで公演され、観客は大蔵流のこっけいな舞や振り、せりふに魅了されました。

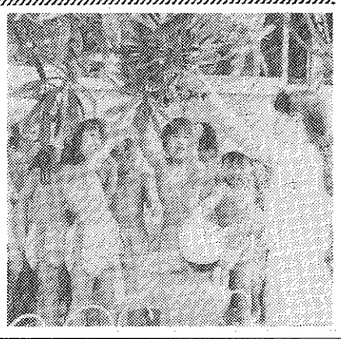
この催しは市と文化事業団主催で昨年の文楽に続いて2回目。今回は中高生にも伝統芸能に親しんでもらおうと無料にし、満席の盛況ぶり。放生川を舞台にした「八幡の前」では終始笑いが絶えませんでした。

市内中高吹奏楽部が音楽の祭典

◇音楽を通して交流と技能向上を目的に、市内の中学高校の吹奏楽部による「第8回中・高音楽のつどい」が6月9日、文化センターで開かれ、詰めかけた聴衆1000人を魅了しました。市内の吹奏楽部のレベルは高く、特に昨年の中学校の大会では、府大会で市内4中学とも金賞や銀賞を受賞。関西大会では、男山二中が銀賞に輝いています。

山鳩保育園児がビワの実を収穫





◇「こんなに大きなビワの実が取れたよ」6月7日、山鳩保育園で園児たちの手によってビワの取り入れが行われました。

3㍍にも育った3本のビワの木は、18年前におやつに出たビワの種をまいたものが大きくなり、数年前から実をつけました。収穫したビワは、早速、この日のおやつに。園児たちは、口いっぱいにほおばって甘い初夏の味を楽しみました。

やわらぎ俳句

俳句

登校列蜂も一緒で列みだれ　八幡高坊
紫陽花（あじさい）の七彩こぼす紙き雨　井上　大助
橋本栗ヶ谷
三日咲き葉ばかり残る花菖蒲　小川　常夏
五月晴「愛称」応募しテレカード賜（くだ）る　岩崎　ヨシ
八幡園内
あじさいや朝の挨拶垣根越し　中野恵美子
八幡岸本
バラ咲ける娘のあたたかな目に会ふて　富永　健郎
男山長沢
晴れという花占いにいわし雲　余米　公子
男山弓岡
鳩ヶ峯山ふじゆらす青嵐　渋谷　文枝
野尻土井ノ内
田植水岸辺の花をちょうちゃくす　西川智慧子
川口堀ノ内
泥とわらくわえしつぼめ蓄闘す日ごと成りゆく　円光　孝子
下奈良二階堂
菱田　清子

短歌

【募集】短歌、俳句、川柳の作品を募集。作品には住所、氏名、電話番号を必ず記入し、〒614八幡市八幡園内75八幡市企画部秘書広報課作品係へはがきで。※締切りは毎月15日必着。作品は1人1点に願います。

育（はぐくむ）みの巣よ　八幡園内
貴録の人間国宝冴えて「八幡の前」にやんや　円光　孝子
の拍手　男山松里
初夏の空うす紅に染め太陽（ひ）は生（あ）れしか　七野　晃一
えでの青葉ゆれる間に間に　八幡武蔵芝
山浦千鶴美
悲しみがいつも私をつよくするあこがれの夢夫　橋本栗ヶ谷
がいるから　小川　米子
植え終えし早みどりの田は輝きぬ微睡（まどろ）む雲の映りて静寂（しじま）　八幡福禄谷
山本恵美子
一竹の辻が花染め命みる魅（ひ）かれて心酔ま　八幡三本橋
ぼろしの染め　中村　芳子
ここなるか岩田の木津川渡し舟声の葉陰にヨシ　八幡小松
キリの鳴き　宍戸　光夫
幼きを山に育ちし君なれば仙道（そまみち）の蹶（わらび）すばやく手折る　八幡舞台
品川　正次
娘来し新茶のかほり父の日に夫（つま）のきう　戸津北小路
すにしたずぅみうつ　吉川しずず子
苔むせる女郎花塚まのあたりいにしえ思びあゆみとどむる　八幡岸本
大槻　延子
火砕流長崎県の雲仙で聞くもおそろしすごい天災　八幡大谷
森口　あい
梅雨ばれの中に映ゆるや花菖蒲いろとりどりのめでるたのしさ　八幡吉野
井上ミツエ
火の山は怒れる如く幾度か民の営みを嘗（な）めて流るる　八幡園内
舟橋　好子
山里に誰を待つやら一人生（ぼ）えわらび野蕗の摘む人ぞなく　八幡高坊
井上　淑子

川柳

引き際を知る勝負師の男夢　八幡土井
小川たかし
信じたい政治倫理と医の倫理　八幡北浦
土谷　治男

6月号に掲載しました短歌に誤りがありました。おわびして訂正します。
階段に千有余年の歴史ありて行教坐像静もる神　応寺　宍戸　光夫

前月掲載の4月届出分の名前に誤りがありました。おわびして訂正します。
男山香呂　長村友里恵　弘一

おめでとうございます
平成3年5月届出分

出生

（敬称略）

住所	赤ちゃん	保護者
男山笹谷	田村　梓	茂
男山吉井	吉川日奈子	慎一
男山泉	山本なつみ	卓裕
男山石城	多賀心之介	宏
橋本栗ヶ谷	林　佑香	雅宣
八幡舞台	森島　綾香	幸太
男山竹園	島口　奈々	敬則
男山泉	平野　詩織	靖隆
八幡高畑	安藤　直也	隆
男山香呂	大峰　智也	信一
男山長沢	入見　陽子	桑生
八幡山下	迫井　徹	龍司
男山竹園	北村　卓也	潔
橋本焼野	舟越　愛	廣行
男山石城	坂井　亮太	宏彦
八幡柿ヶ谷	前田花奈実	達伸
八幡広門	家村　洋菜	豊
下奈良上ノ段	丹村　祥子	博次
男山金振	鶴崎　修平	薫
美濃山幸水	國分　葵	建夫
男山石城	久保　良介	健二
男山長沢	木全　政樹	弘昌
八幡源氏垣外	五十嵐藍子	守男
男山八望	布村　菜月	重樹
男山石城	定塚　広大	章治
八幡小松	緑間　舞子	賢二
男山香呂	馴松　美咲	健司
男山弓岡	中西　葵	康嗣
男山香呂	大和　佳史	明
男山笹谷	平野　優	康雄
男山美桜	駒水　耕平	章平
八幡植松	北川　和真	昭典
川口東扇	辻　大輝	章信
西山足立	小林　大洲	利朗

住所	赤ちゃん	保護者
八幡吉原	西村　あい	昭久
男山八望	近持　佑幸	伊織
美濃山宮ノ背	小原　錬	康史
橋本奥ノ町	大道たまみ	隆司
八幡清水井	山本　克寛	真一
橋本尻江	水本　大輔	禎之
橋本東山本	田村　真也	光夫
八幡安居塚	小山　明	正博
八幡馬場	湯浅　拓磨	竜一
男山香呂	松本　和也	健治
川口浜	前田　賢二	一雄
男山弓岡	大西　尭昌	利夫
森川麻都香	伸二	
男山香呂	茶端　洋平	敏行
男山指月	善島　愛子	英太
八幡小松	佐野　八造	勝康
男山指月	藤原　直樹	孝義
男山弓岡	今井　美陽	康隆
川口東扇	山本　脩平	稔
下奈良上ノ段	川勝　孝也	正孝
男山笹谷	水谷　早苗	利洋
男山長沢	水谷　有花	眞人
男山弓岡	岡田　洋一	公洋
男山香呂	前出　早織	和彦
西山丸尾	小谷　侑士	幸男
男山香呂	茨木　亮多	正裕
八幡園内	伊藤　沙織	昌喜
八幡山本	吉田　拓未	匡利
男山金振	永田　春佳	良宣
川口堀ノ内	家村紗代子	耕司
男山吉井	辻本多葵江	善則
川口堀ノ内	奥村　果妃	新司
男山香呂	古家　美帆	浩史
男山石城	宿利原友美	秋夫
川口西扇	坂口　絵美	裕彦
八幡園内山	白井加菜子	直樹
男山弓岡	川勝　洸己	和己
八幡三反長	木下理咲子	章伸
八幡柿ヶ谷	春本　美侑	和隆

結婚

（敬称略）

住所	夫	妻
八幡五反田	山本　博信	中西　陽子
八幡園内山	西川　良彦	中西　三乃
男山弓岡	上田　隆	吉岡　和子
男山竹園	山下伸太郎	橋内　由貴
八幡備前	布藤　彰	小川　正子
男山八望	木戸　秀明	山北由美子
男山松里	川上　光登	生野佳世子
男山弓岡	田中　克彦	宮崎　妙子
男山弓岡	猪俣　英治	香西　君保
八幡園内山	城戸　洋一	大槻　麻子
男山竹園	小町　一輝	西尾　順子
男山弓岡	横倉　幹弘	長谷　三枝
男山松里	浦川栄一郎	有田　雅美
男山香呂	田中　渡	濱本　みさ

住所	夫	妻
八幡福禄谷	天羽　利信	梅垣　裕加
八幡北浦	池田　義治	小笠原祐子
男山長沢	島崎　健	浅田　紀佳
八幡園内山	芦田　雅弘	坂根　幾子
男山竹園	上山　貴敏	小牧　優子
橋本奥ノ町	赤井　哲夫	小林佐和子
八幡馬場	古川　明	広瀬由香里
戸津北小路	福田　浩久	田中　麻理
美濃山中尾	堀口　良則	藤野　洋子
八幡園内山	迫畑　健次	北出由美子
八幡広門	山田　勝也	麻田　郁乃
男山香呂	浅田賀津彦	寺尾八美子
八幡吉野	北村　昌也	岡　美由紀
男山竹園	高石　尚則	宮崎　昌美
男山弓岡	家瀬　梅造	品川かおり
八幡吉原	森本　剛史	川嵜　秀美
八幡福禄谷	増田　明仁	吉本香緒里
橋本糸ケ上	西口　友明	山谷美栄子
内里別所	永島　勝己	藤分　直美
男山石城	福井　康雄	三浦　仁美
八幡軸	岡野　成	平井　明美
八幡小松	平井　勝	道原　美加
八幡三本橋	中村　誠	山田　美加

'91 7月 相談コーナー

法律相談 ＜予約制＞	2日(火)、16日(火)、23日(火) 8月6日(火)、13:30～16:00 市役所1階相談所
心配ごと相談 (人権・行政)	10日(水)、25日(木) 10:00～16:00 市役所1階相談所
年金相談	3日(水)、17日(水) 13:00～16:00 文化センター2階第1会議室
家庭児童相談室 出張相談	9日(火)、25日(木) 10:00～15:00 男山公民館
老人健康相談	25日(木) 9:30～11:30 八寿園

広報伝言板

この欄は、テーマについて市民のみなさんに自由に語っていただくコーナーです。また、登場いただく次の人を紹介してもらい、人から人への〝輪〟をつないでいくコーナーです。
さて、今月はどんな話が聞けるでしょう。

あなたも一言　市民の輪

今月のテーマ　〝みどりについて〟

大阪市から転入したのですが、八幡には男山をはじめ、緑は多いと思います。ただ、道路が狭いこともあるのですが、市役所前の街路樹が少ないように思います。人が集まるところには、もう少し季節の花を飾ってはどうでしょうか。近くにさくら公園がありますが、不用意にゴミが捨てられていると残念ですね。

井上　照子さん(41)
(八幡月夜田)

男山がすぐそばの橋本狩尾に家があり、周りは木々で囲まれています。春の若葉、秋の紅葉など、四季の移り変わりが、居ながらにして実感できます。最近、自転車でよく通るのですが、男山団地にも公園や街路樹の緑が増え、きれいになりましたね。ただ、街路樹のせん定には、もう少し気を配ってくださいね。

佐々木智子さん(47)
(橋本狩尾)

緑は何か心を落ち着かせてくれる感じがして、家でも庭木を育てています。でも、自分では、水やり程度の手入れしかできません。住宅街を歩いていて、庭にきれいな花が咲いていると、自分の家でなくても気持ちがいいですね。まちを緑いっぱいにするには、一人ひとりの心がけが大切なんでしょうね。

藤岡　和代さん(39)
(川口西扇)

「はい」相談コーナーです

秘書広報課　☎983－1111(代)

廃乾電池の処理
透明の袋に入れ不燃ゴミの日に

古い乾電池がたまって処理に困っています。不燃ゴミに出そうと思うのですが……。
男山　主婦

使用済の乾電池は、燃やすゴミや燃やさないゴミの中には一緒に入れず、燃やさないゴミの収集日に透明のビニール袋に入れて他のゴミと分けて出してください。(男山団地集合住宅は、回収専用缶をゴミ置場に設置しています)

廃乾電池は焼却すると有害物質が発生して公害の原因となり、また、埋め立て処分しても乾電池の外側が腐り、水銀等が流れ出して地下水や土壌を汚すこともあります。

市では回収後、ひとまとめにして城南衛生管理組合へ運搬。同組合の管内で収集された廃乾電池は、最終処理場である北海道常呂郡留辺蘂町の水銀処理工場で、乾電池から水銀等の金属類を抽出し、再生処理されています。本市はこの回収作業を昭和59年11月からも実施しています。

全国的な回収率は、年間消費量に対して約15%と低く、様々な環境汚染がある中で、この乾電池問題も決しておろそかにできない重要な問題となっています。

本市の回収量は、平成元年度が1・2ﾄﾝ、2年度が1・9ﾄﾝでこれを単三電池で換算すると約9万5千本になります。

また、乾電池には筒型やボタン型がありますが、後者は電気店や一部カメラ店等に回収ボックスが設置されていますのでご利用ください。

市民のみなさんのご協力をお願いします。

美しい夏空の天体観測会

夏の星空を観測してみませんか。市公園施設事業団では、7月20日(土)と8月10日(土)に開催する天体観測会の参加者を募集します。

今回の観測目標は、7月が月・金星・木星・水星と夏の星座で、8月が土星、ベルセウス座流星群)と夏の星座です。

□日時　7月20日(土)午後7時～9時・8月10日(土)午後7時～9時まで(但し、雨天時は1週間後に延期します)
□場所　男山レクリエーションセンター　八幡大谷85
□参加費　各1人200円(当日に徴収)
□講師　小田公生先生(八幡高校)
□定員　各50人
◆申込み・問い合わせ　7月開催分は7月13日～7月19日まで、8月開催分は8月3日～8月9日までに電話で予約してください。
男山レクリエーションセンター(☎9883・1611)

半日人間ドックの補助

国保加入者を対象に

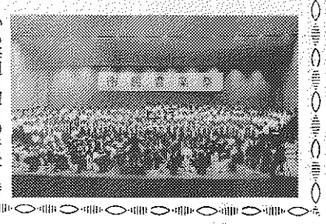
市では、国民健康保険の加入者を対象に「半日人間ドック」補助事業を実施します。

この事業は、国保加入者の健康に対する自覚を高め疾病に対する予防及び早期発見と治療をはかる目的で実施するもので、健診料の3割は、自己負担していただきますが、残り7割については市の国民健康保険が助成します。

◇資格・制限事項　①申請時において1年以上継続して、八幡市国民健康保険に加入していること②申請時において保険税を完納していること③本年9月2日現在で満30歳以上であること④妊娠や入院をしていないこと
◇定員　150人先着順(男性女性それぞれ75人)
◇申込み期間　7月22日(月)～7月31日(水)まで。但し、第4土曜日は休みで定員になり次第締め切ります。
◇健診日　平成3年9月2日(月)～10月25日(金)までの平日
◇自己負担額　男性11万1840円・女性11万2730円
◇健診医療機関　京都第二赤十字病院(京阪東福寺駅下車)
◆申込み・問い合わせ　国民健康保険証と印鑑を持って市国保年金課へお越しください。(☎市役所内線235・236)

市民音楽祭の合唱団員を募集

曲目はミサ曲戴冠に決定



八幡市文化センターでは、12月1日(日)に市民音楽祭で歌っていただける合唱団員を募集しています。

合唱曲目は、モーツアルトの没後200年を記念して、ミサ曲〝戴冠〟K317です。

□資格　市内在住在勤者
□練習日　9月1日(日)から毎週日曜日の午後1時～3時頃まで
□練習場所　文化センターリハーサル室
□費用　無料
□指導　吉村信良(府合唱連盟理事長)・永井英晴(府合唱連盟理事)・尾杉光雄(声楽家)
□演奏　八幡市民オーケストラ
◆申込み・問い合わせ　八幡市文化センター(☎971・2111)まで

老人介護者に激励金支給

7月1日～7月15日までに申請を

市では、寝たきりのお年寄りの介護者に激励金を支給しています。対象者は7月1日(基準日)において次のいずれにも該当する人です。

◇対象者　①配偶者または3親等内の親族で、寝たきりの生活が6カ月以上続いている満65歳以上のお年寄りを同居または常時通って直接介護されている人②介護者(申請者)もお年寄りも6カ月以上京都府内に在住のこと③基準日において、お年寄りが社会福祉施設に入所していない。また病院等に継続して3カ月を超えて入院していないこと
◇支給額　6万円
◇申請場所　7月1日から15日までに市援護課まで(申請用紙は援護課にあります)
◆問い合わせ　福祉部援護課(☎市役所内線229)まで

ご協力をお願いします
平成3年7月　事業所商業統計調査
八幡市企画部企画課　☎983－1111

ホームヘルパーの登録員を募集

市社会福祉協議会では、昨年7月に開設した「ホームヘルプセンター」の家庭奉仕員(ホームヘルパー)の登録者を募集します。

介護が必要な寝たきり、痴ほう性老人や障害(児)者などがおられる家庭に行き、日常生活のお世話をするのが仕事です。現在、八幡市には、15人の家庭奉仕員がいます。ご応募をお待ちしています。

□活動内容　要介護老人や障害(児)者などの家庭で炊事・掃除・洗濯など
□資格・経験　別に問いません。但し、市内在住の人に限ります。
□募集人員　5人
□募集期間　7月1日(月)から7月15日(月)まで
□報酬　1時間　740円
◆申込み・問い合わせ　市社会福祉協議会　八幡三本橋59の9　(福祉会館内☎9883・1504/9883・4450まで)

募集

動物愛護写真の作品を募集

愛情にあふれた作品を

府田辺保健所では、動物愛護写真コンクールの作品を募集します。

同コンクールは、動物の愛護と適正飼養について、府民の関心と理解を深めるために実施するもので、テーマは、動物と人間のふれあい」です。

▼応募期間　7月15日(月)～8月16日(金)まで
▼応募資格　府内在住在勤者
▼作品　作品の裏に題名、住所、氏名(ふりがな、年齢(学年)、職業(学校名)、連絡先(電話番号)を記載して郵送または持参する。
・応募作品は返却しない
・写真のサイズは四ツ切
・作品の著作権は府に帰属
▼点数　1人2点以内
▼審査　府で審査を行い各賞を決定し、入選者に通知する
▼表彰式及び作品展示　11月3日(日)　木津中央体育館で開催する
◆問い合わせ　府田辺保健所衛生課(☎0774 6・3・5745)まで

ボランティア活動者を募集

障害児と楽しい夏休みを

八幡市サマースクールでは、夏休みに障害を持つ子供たちと一緒に遊んでいただける人を募集しています。

同スクールは、「障害を持った子供たちにも楽しくて豊かな夏休みを過ごしてもらおう」という父母や教師の切実な願いから始められ、今回で10回目を迎えます。ご協力いただける人は、一日だけの参加でも結構です。ご連絡ください。

▼開催日　7月29日(月)、8月2日(金)、同9日(金)、同21日(水)、同26日(月)
▼時間　午前8時30分～午後2時30分(但し、21日は盆踊りのため午後1時～午後9時)まで
▼場所　八幡第五小学校
▼その他　初めての人のために、ボランティア学習会も計画しています。
◆問い合わせ　谷口・男山中学校教諭(☎0774 5・2・1569)まで

外人留学生の民泊家庭募集

9月初旬から4ヵ月間

関西外国語大学(枚方市)では、今年9月に来学する外国人留学生の受け入れ家庭を募集しています。

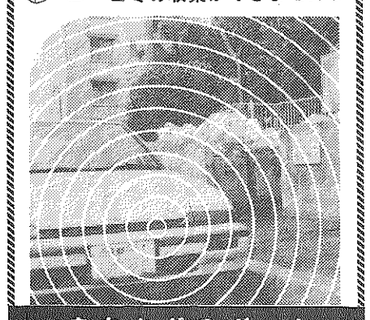
期間は、9月初旬から12月末までの約4カ月間です。受け入れ家庭には、お礼として月額5万6千円(11月と12月は暖房費としてさらに6千円)が支払われます。

外国人だからといって特別な配慮はまったくいりません。留学生を家族の一員として迎えてください。また、家族に英語が話せる人がいなくても、辞書を片手に十分意志は通じます。国際理解の意味でご協力をお願いします。

◆申込み・問い合わせ　関西外国語大学国際交流課(☎0720・51・6751)へ

迷惑駐車

ゴミの収集ができませんよ



まちかどスポット

その他

すこやか協が記念講演開催

元新聞社論説委員が講師

八幡市の少年をすこやかに育てる市民協議会では、平成3年度の記念講演会を開催します。

同会は、昭和56年発足以来市民ぐるみで、少年の健全な成長発達をはかることを目的として、取り組んでいます。

ご近所お誘い合わせのうえ、多数お越しください。

▼日時　7月6日(土)午後1時30分～3時まで
▼場所　男山公民館9階研修室　男山八望3番地
▼講師　梶貞澄氏(青少年育成国民会議講師)
▼テーマ　「大人が問われているもの」
◆問い合わせ　市教委教育指導室(☎市役所内線450)

ハンドボール大会に応援を

小学生の国際交流試合

市と市ハンドボール協会では、8月2日(金)午前9時～11時頃まで、八幡市民体育館で「八幡市―台湾小学生ハンドボールチーム国際交流試合」を開催します。

また、8月3日・4日の両日、午前9時からは、田辺町中央体育館で「第4回全国小学生ハンドボール大会」が開催されます。

入場は、無料です。国際親善・友好交流のためにも、多数の市民のみなさんのご声援をお願いします。

◆問い合わせ　同協会事務局長―松尾(☎982・4646)まで

交通安全教室開きませんか

地域役員のみなさんへ

田辺警察署では、「交通安全教室」の開催依頼の申込みを受け付けています。

夏休みが近づき、子供たちを交通事故から守るために、夏祭りや子供祭り、地蔵盆などの催しの際にプログラムに組み込んでみませんか。

利用を希望される人は、田辺警察までご連絡ください。

《交通安全教室とは……》
★時間　30分～1時間程度
★場所　学校や公民館、集会所、公園など
★対象人数　約20人以上
★内容　交通安全人形劇、紙芝居、ゲーム、クイズなど
◆申込み・問い合わせ　京都府田辺警察署交通課(☎0774 6・2・0232　内線259)まで

5歳児を対象教育相談実施

心配ごと悩みごと相談

市適正就学推進委員会では、平成4年度に就学する幼児を対象に教育相談を実施します。子供の健やかな成長や発達を支える就学について、心配ごとや悩みごとの相談に応じます。

▼対象　来春就学予定児
▼申込み　①市内(外)の幼稚園・保育園に在園している幼児は各園へ②在宅保育児や現在病気入院中の幼児は、市教委の適就事務局へ
◆問い合わせ　市適就事務局(市教委教育指導室☎市役所内線458)まで

障害・健常児の交流会開催

多数ご参加ください

市適正就学推進委員会では、市内の障害児と健常児の交流をはかり、夏休みのよい思い出になるよう「夏の地域学校」を開催します。

▼対象　①市内の小・中学校の障害児及び健常児②市内在住で各養護学校に通学している児童・生徒
▼日時・場所　①7月25日(木)午前9時～正午・中央小学校②8月23日(金)午前9時30分～午後2時・八幡東小学校及び八幡第三小学校
◆問い合わせ　市適就事務局(市教委教育指導室☎市役所内線458)まで

バレーボールの日程が変更

八幡市民総合体育大会

先ほど、戸別配布でお知らせしました「第7回八幡市民総合体育大会　参加募集要項」の種目バレーボール(一般)の部の大会日時を8月25日から8月4日(日)に変更いたします。

参加申込みは、開催日の2週間前までにお願いします。

◆問い合わせ　市適就事務局(市教委教育指導室☎市役所内線458)まで

暮らしのこどもセミナー

参加者募集

市消費者コーナーでは、子供たちを対象にますます深刻化してくる環境問題や基礎的な消費者問題を学習する「暮らしのこどもセミナー」を開催します。

■日時　7月30日(火)、8月1日(木)の3日間
■会場　八幡市文化センター3階　講習室
■対象　市内小学校5年及び6年生
■定員　30人(申込み先着順)
■その他　▽全課程終了者に受講証を授与します▽保護者付添いの参加もできます▽参加はセミナーを3日間とも受講できる人に限ります
■申込み　7月10日(水)以降に電話で市役所消費者コーナーへ

◆問い合わせ　市消費者コーナー(☎市役所内線256)まで

月日	時間	テーマ	講師
7月30日(火)	13:30～13:45	開講式	
	13:45～15:15	「この食べ物は安全かな？」(実験学習)	八幡市消費者コーナー相談員　三木澄子氏
7月31日(水)	13:30～14:30	「地球を救うのは君だ！」～牛乳パックのリサイクル～	八幡市水と緑を考える会　会長　平田貴代美氏
8月1日(木)	13:30～15:30	「乳製品を使った手づくりおやつ」(料理実習)	㈱森永乳業　栄養士　山口真澄氏
	15:30～15:45	閉講式	

よりよい暮らし　消費者コーナー

☎983－1111－内線256

＜6月の物価調査結果＞

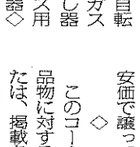
番号	調査品目	規格・容量	平均値	前月比	前年比	市外平均値
1	食パン	1斤・6枚切り	155	△1.9	7.6	161
2	即席ラーメン	100g・袋入り	74	△7.5	5.7	80
3	マヨネーズ	300g・ポリ容器入り	230	0.4	8.5	221
4	ケチャップ	300g・ポリ容器入り	256	1.6	13.3	249
5	サラダ油	700g・ポリ容器入り	360	1.4	8.1	333
6	白砂糖	1kg・袋入り	241	△1.2	5.7	219
7	みそ	1kg・袋入り	388	0.0	11.5	399
8	インスタントコーヒー	200g・ビン入り	1,081	1.7	―	932
9	牛乳	1ℓ・紙パック入り	190	△3.6	1.1	193
10	バター	225g・箱入り	369	△4.2	2.2	322
11	小麦粉	1kg・袋入り	197	△1.0	△0.5	178
12	しょう油	1ℓ濃口・ポリ容器入り	296	1.4	22.8	275
13	牛肉	100g・スライス・中	313	0.3	9.8	309
14	豚肉	100g・スライス・中	162	3.8	12.5	159
15	ハム	100g・プレスハム・中	192	4.3	16.4	162
16	塩サケ	100g・紅サケ・中辛	291	△1.0	△2.0	272
17	海老	100g・無頭・約8cm	268	3.1	15.0	294
18	鶏卵	10個パック・Mサイズ	185	△4.6	17.1	191
19	キャベツ	1kg	149	△61.6	△37.9	157
20	たまねぎ	1kg	230	△10.2	19.8	245
21	じゃがいも	1kg	329	△6.8	38.8	304
22	きゅうり	1kg	501	1.6	41.1	550
23	トマト	1kg	362	△39.6	△25.2	523
24	洗濯用粉石けん	1kg	327	6.2	4.1	278
25	台所用洗剤	380mℓポリ容器入り・中性洗剤液状	168	0.6	△8.7	149
26	台所用ラップ	幅30cm・長さ20cm・塩化ビニリデン製	220	2.8	4.3	208
27	トイレットペーパー	55m・4個入り	270	△2.9	13.0	260
28	ガソリン	1ℓ・レギュラー・現金売り	122	△2.4	4.3	―
29	軽油	1ℓ・現金売り	77	△1.3	13.2	―
30	灯油 持ち帰り	18ℓかん入り	946	△0.4	22.2	―
	灯油 配達料込み		1,011	△1.2	29.6	―

(価格単位・円　比率単位・%)

暮らしの物価情報

◆家具①三面鏡(イスなし)無料
◆その他①パソコンNEC8801ﾐﾆ8万円②ベビー用カーチェアー1万円③ケース入フランス人形無料④八幡高校女子制服夏・冬服一式無料⑤動力ミシン応談⑥編み機一式5千円

◆電気器具類
①ステレオスピーカー(2個)4万円②エレクトーン(レバー式)3万円③テクニトーン3万円



◇大人用自転車◇LPガス用湯沸かし器◇都市ガス用湯沸かし器◇洗たく機◇動力ミシン◇トレーニング機器◇小型掃除機◇ダニ取り付掃除機◇コーヒーメーカー(ミル付)◇キーボード◇二段ベッド◇三輪車◇ミニバイク◇子供自転車14～22インチ◇CD付ミニコンポ◇室内アンテナ付テレビ◇着物用張り板

以上の品物がありましたら、安価で譲ってください。

◇　◇　◇

このコーナーに掲載している品物に対するお問い合わせ、または、掲載を希望される人は、市消費者コーナー(☎市役所内線256)へご連絡ください。

このコーナーのほか、市役所1階ロビーに「不用品情報板」を設けています。

なお紹介後の成立、不成立は必ずご連絡願います。

暮らしのリサイクル

暮らしにせっけんを

私たちの身のまわりには洗剤があふれています。台所、住まい、洗濯と用途により色々ありますが、こんなに多くの洗剤が必要でしょうか。毎日の生活の中でそれ程ガンコな汚れはないはずです。汚れを落とすということについて、もう一度考えてみましょう。

汚れを落とすことは環境に与える影響は少なからずあります。界面活性剤を主成分とする合成洗剤は、様々な分野で広く用いられ、環境汚染へと移行しているのが現状です。この環境汚染とは、つまり合成界面活性剤の難分解性と生物への影響などです。(分解に数カ月かかる)

一方、昔から使われている石けんは、使用している間にも分解し(一日以内に)、水を汚すことや皮膚障害も少なく安全性に優れています。洗浄力についても合成洗剤より強いことが、各方面から報告されています。経済的にも、一回当たりの使用量から割り出すと粉石けんの方が安価です。

このように、合成洗剤よりは

るかに優れている石けんを、暮らしにもっと利用しませんか。洗濯はもちろん、台所では食器洗い、ガス台や換気扇に、風呂ではあらゆる浴槽に、またガラス窓や家具の汚れ、トイレもバクテリアを殺さないので浄化槽を痛めません。

その他、歯みがき剤やシャンプー等にも。若い人の朝シャンで合成洗剤のものによる皮膚トラブルや髪の荒れは後をたちません。長い間、石けんは人にも自然にもやさしい存在でした。その良さを見直しましょう。

暮らしの情報板

◇ダイヤルQ²情報

日本電信電話(NTT)の有料情報サービス「ダイヤルQ²」の番組審査を実施している全日本テレホンサービス協会(郵政省の認可法人)は、露骨な性的番組を流していた39件に対し、回線契約を解約するようNTTに勧告した。また「ダイヤルQ²」のサービスの改善については、主婦連合会などからも申し入れを行っていた。

これらに対しNTTは、青少年保護などの観点から番組の一部打ち切りや、情報料の上限額引き下げなどの措置を取ることを明らかにした。

番組が打ち切られるのは、不特定の男女が1対1で会話することを目的とした「ツーショット」。これは、不純異性交遊などにつながる恐れがあるため。

また三人以上が同時に会話を楽しめる「パーティライン」は、長時間の利用で高額の料金請求につながるケースが目立つため、10月以降、現行の最高三分間300円の情報料を同60円まで引き下げる。